



学校便り 「志々伎の風」

No.1 7

目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
 「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成 29 年 1 2 月 1 9 日

文責

平戸市立志々伎小学校

校長 村田 俊郎

【防災】

平戸消防署（中津良出張所）のご協力で、地震体験車が志々伎小学校に来ました。体験車で震度6強を体験したり、消防車や救急車の機能などを説明してもらいました。地震の怖さや対応の仕方を学びました。また、地域の方を守るため、消防車や救急車には、様々な工夫が施されていることも学びました。



志々伎小学校の子どもたちのよさは、どの子も様々な質問をすることで。①しっかりと話を聞く。②疑問をもつ。③疑問を自分の言葉にする。④勇気を出す。この4つの力が育っているということです。



【親子で読書・みんなで読書】

クラスのいじめに巻き込まれたくなくて知らんぷりしていたぼく。自分がいじめられる対象になった時に知らんぷりをしていた自分の姿をかえりみるようになります。いじめの四層構造（いじめる子、おもしろがったりして見ている子、見て見ない振りをする子、いじめられる子）について、深く考えさせられる一冊です。



【おめでとう】

【平戸市防火ポスターコンクール】

【入選】

5年 ○○ ○○ さん

5年 ○○ ○○ さん

5年 ○○ ○○ さん

6年 ○○ ○○ さん

【佳作】

6年 ○○ ○ さん



【おさかな教室】

漁業に従事している家庭が多い志々伎小学校の子どもたちですが、魚をさばく経験はあまり多くはありません。今年も志々伎漁協や県や市の方々のご協力により、おさかな教室が実施されました。

4年生以上が参加し、悪戦苦闘しながら、アジを2～3匹さばきました。時々家で手伝っている子は、婦人部の方の少しのアドバイスで上手にさばいていました。その後、ブリやアジの刺身やカルパッチョ、骨せんべいなどをおいしくいただきました。豊かな自然のある志々伎のよさを実感していました。

